

地域懇談会意見まとめ（藤が尾小学校区）

1 事前アンケートより

現状	強み
<ul style="list-style-type: none"> ● 自治会に加入していると回答した人の割合が低く、近所との付き合いがほとんどないと答えた人の割合が他校区に比べて高い ● 福祉への関心が低い人の理由として、福祉活動等をしたことがない、自分が何をすればいいかわからない、という回答が多い ● 情報提供・活動先の紹介があればボランティア活動が行いやすいという回答が多い ● 安心して暮らせる地域には、災害時や治安、困ったときの情報提供など地域の安全・安心が重要だと考えている人が多い ● 社会資源として民間団体、企業、有償ボランティア等による生活支援サービスの満足度が低い ● 「人間関係がわずらわしい」という回答が多く、福祉への関心が他校区に比べて低い ● 忙しくて時間が取れないこと、健康に自信がないことが地域活動への参加の支障となっている ● 友人・知人、隣近所など、周囲の人に相談したり手助けを求めている人の割合が減っている ● 福祉に関心があるが、何をすればいいかわからないという人が多い ● ボランティア活動をしたことがある人は3割程度で、活動に関する情報提供を多くの人が望んでいる ● 犯罪をした人の立ち直りへの協力したいと思う人が少ない理由として、接し方がわからないという人が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ● アンケートでは約74%の人が居住地区を暮らしやすいと感じており、住み続ける予定という人も7割以上いる ● 町内会行事などの地域活動に参加意向がある人は8割以上いる ● 参加や手助けができると思う活動では、見守り活動・災害や防災対策の割合が高い ● 福祉に関心がある人については、特に高齢者に関する福祉に関心が高い ● 子どもの登下校の見守り等、安心して暮らせる地域に関する項目への満足度が高い ● 障害福祉に関心があると回答した人の割合が他校区よりも高い ● 子どもに関するボランティア活動・助け合い活動の経験がある人、関心がある人が多い ● 地域の行事やまちの清掃活動といった地域での交流に関する満足度が比較的高い ● 成年後見制度や再犯防止に関する制度等の認知度が上がっており、啓発活動の効果がみられる ● 福祉に関心がない人でも、居住地域での地域美化活動や災害・防災対策には参加できると答えている人が一定数いる

2 あったら良いな・できたらいいな

「あったら良いな・できたらいいな」としていただいた意見の内容を整理しました。

地域のつながりと見守り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大人も子どもも声かけしても返事がない。 ・ 名札なし名前がわからない。 ・ 活動者の高齢化と参加者の増員がない ・ 通学路の整備（低学年生の転倒防止） ・ 独居高齢者の掘り起こし→リスト作成→個人情報拒否 冷蔵庫等へ設置 ・ ”緊急キッド”
地域のつながりと困りごとを抱える人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会話ができるベンチの設置 ・ こども 110 番の旗、高齢者 110 番の旗 ・ 高齢者” SOS” の表示 ・ 歩行者用アンダーパスの復活希望
地域のつながりと安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校へ行けない場合、人のひなん場所 ・ 公園までの安全な経路 ・ 歩道の整地（凸凹） ・ 公園はあるが、自宅からそこまで遠くて一人で行けない子どももいるし、公園の近くの踏切で過去に子どもの事故もあって心配。夏は暑すぎて外で遊ぶこともできない。 ・ 登下校時の見守りについて企業と連携を… ・ 照明が少なく、地元での防犯灯設置は…（夜間不安） ・ 防犯カメラの設置増を… ・ 各家庭で「安全表示」を行う。（防災時）・・・防災担当の会合を密にしている ・ コミュニティ単位での防災訓練を… ・ 災害に関して関心が低い。（他市に比較して災害が少ないので…） ・ AED の設置場所について…年数回の講習があってもよいのでは… ・ 不審者訪問、リフォーム訪問について相談できるところが欲しい。
地域で育ち地域を愛する（郷土愛）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども会活動が少ない ・ 全員が「おせっかいさん」が欲しい。 ・ 人間関係が希薄になっている。 ・ 以前は遊び場所が多かった。（ニーズについてゆけない） ・ 男性の共同参画が少ない。 ・ 星田北エリアの校区福祉委員の選出は… ・ 防災訓練にも星田エリアからの参画 ・ 環境が変わったので変化がある。 ・ 子供のあそび場が必要（フリースペース、校庭でのあそび）週 2 回している。 ・ 見守りがありがたい。 ・ 老人ホーム明星 地域との交わりが苦手な人もいる。 ・ ホームでの祭りはなくなったけど、入居者を優先になる ・ 地域の人との交流を進めていきたい
地域に住む人・働く人の強みを活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の会合には常に出席されている（連合） ・ （ホーム明星）（みのり） ・ 地域の困り事に協力的（草刈り等） ・ 交流会に参加して施設の見学等、行事への参加等通して、いずれ働く機会のひとつになればと思う ・ しっかりされてる人々が地域のようにせいがあれば元気な人達が参加して、手伝い、協力できたら ・ 団地の階段（活用していく）に出している（新聞、ゴミ等を下までもっておける（みのりの人達） ・ AED、防犯カメラの位置 ・ 学校とのつながり事業所さんとの交流

3 これからできそうなこと

「あったら良いな・できたらいいな」の意見を踏まえ、自分たちが「これからできそうなこと」としていただいた意見の内容を整理しました。

地域のつながりと見守り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生に名札の着用（1学期） ・ 福祉会の活動で推しよう・勧誘 ・ 市役所への要請 ・ 段階の世代の社会活動への参加をうながす。 ・ HP を立ち上げ 活動情報を流されないか
地域のつながりと困りごとを抱える人	<ul style="list-style-type: none"> ・ お隣さん「お元気！」の声かけ ・ 郵便局でのよろず相談会の開催。 ・ ピンポンサロンの PR（小、中学校） ・ 独居者 etc の情報→行政へ連絡。 ・ 定期的な掃除の後にミーティング実施している。 ・ 市（行政）より手向いてケアできるのでは ・ 月1回、町内の掃除をみんなで行った後に連絡会を行っている。その際に近所で気になっている人などの情報共有を行ってはどうか。 ・ 各地区の当番が月1回定例会に参加するので、その場で各地区からの情報を集約して、民生委員や福祉部、包括などに繋げられるのでは。
地域のつながりと安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な取りしまりを実施してほしい。 ・ 人が集まればピンポンサロンのサマータイム実施 6 時限目終了は 15:10（現状は～16 時） ・ 藤小だより→連合→各地区回らん ・ せっかく藤が尾会館でピンポンをしているが、木曜日は 6 時間授業なので 13:30～16:00 の利用時間では子どもは来られない。しかし時間を延ばすと、スタッフの確保が難しくなる。そもそもピンポンがあることを知らない子どもも多いのでは。 ・ 夏場だけでもサマータイムを導入して 17 時まで等にしてはどうか。（ただし 8 月は校区福祉委員会の活動自体が休み） ・ ピンポンはスタッフの見守りもあり、夏場などでもクーラーが利いていて快適に活動が出来る。小中学校で、生徒にこういった活動を地域でしていると案内してもらってはどうか。 ・ 防犯灯の設置増を ・ AED、防犯カメラ設置位置の安全マップを作成して不審者情報の放送が聞こえるように…
地域で育ち地域を愛する（郷土愛）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会活動のアナウンスが必要 ・ 全員が「おせっかいさん」になって欲しい。 ・ みのりさん事業所 ・ 藤が尾は理解がある！校区とのかかわりがあるのでありがたい。 ・ 夏まつりへの参加もあるので。 ・ 皆への声かけ等で知ること（顔を見て話し合える場所） ・ とより近所と仲良くすることが必要。
地域に住む人・働く人の強みを活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティスクール ・ 中学生と小学生をつなげるには、小学生単位だけでなく中学まで広げていけたら良いのでは。 ・ 朝の声かけに、中学生も参加出来たらどうか。